

TDU *Agora*



理工学部開設40周年

～記念式典・祝賀会・記念シンポジウム開催～ …… 1

CONTENTS

| | |
|---------------------------------------|-------------------|
| 今月の顔 柳原隆司特別専任教授 (未来科学研究科建築学専攻) …… 3 | 中学校・高等学校 …… 7 |
| キラリ★電大生 モハマドヌルハキミ ビンアリアスさん …… 4 | TOPICS …… 8 |
| TDU LABO ナノ精度加工研究室 (工学部 先端機械工学科) …… 5 | キャンパスよもやま情報 …… 9 |
| 「電大ガールズ」D-girls …… 5 | News …… 10 |
| 学び探求 大学院進学者の国際化プロジェクト …… 6 | Information …… 15 |
| オフィス訪問 総合研究所 …… 7 | |





理工学部開設40周年

～記念式典・祝賀会・記念シンポジウム開催～

埼玉鳩山キャンパスは、昭和52年(1977年)4月に埼玉県鳩山町に開設し、本年開設40周年を迎えます。開設当初は数理学科・経営工学科・建設工学科・産業機械工学科の4学科ではじまり、現在は5学系と大学院理工学研究科を設置し、学生数約3,000名のキャンパスへと発展しました。平成30年度には新学系の設置、また成績優秀者を対象とするオナーズプログラム(次世代技術者育成プログラム)を新設し、将来的に発展が予想される「宇宙工学」「生体医工学」「環境工学」といった学際領域における独自の授業を提供し、幅広い知識を有し専門性の高い人材の育成を目指します。

この度、開設40周年を記念して、記念式典および祝賀会を11月3日(金・祝)に開催します。

午前中には式典に先立ち、平成30年度理工学部改編に関連した記念シンポジウムを企画しています。なお、当日は学園祭(鳩山祭 11/3～5)も開催していますので、ご来場をお待ち申し上げます。

記念式典

- 日時 平成29年11月3日(金・祝)
13時～14時
[受付:12時～]
- 場所 東京電機大学埼玉鳩山キャンパス 10号館(本館)2階
プレゼンテーションホール
[受付:10号館(本館)1階エントランス]
埼玉県比企郡鳩山町石坂(東武東上線 高坂駅 スクールバス8分)
- 次第 ①開式 ②理工学部長挨拶(埼玉鳩山キャンパス沿革紹介)
③式辞(学長) ④来賓紹介 ⑤来賓祝辞
⑥記念アトラクション
(鳩山町指定無形民俗文化財 泉井神社 ささら獅子舞)
⑦閉式



子どもたちが踊る3頭の獅子と花笠、猿田彦、行司、万燈、笛唄で構成される獅子舞で、悪魔退散、無病息災、五穀豊穡を祈願し、秋の祭礼で奉納されます。500年の伝統がある鳩山町指定無形民俗文化財です。

祝賀会

※教職員・卒業生対象です

- 場所 記念式典終了後、4号館2階「樺」、1階「HATO CAFE」
- 次第 ①開会 ②校歌斉唱 ③挨拶(理事長) ④乾杯(校友会理事長)

記念シンポジウム

記念式典に先立ち、午前中より記念シンポジウムを開催します。理工学部は平成30年度に改編を行い、宇宙工学、生体医工学、環境工学の3つのオナーズプログラム(学部・大学院連携の次世代技術者育成プログラム)を発足させます。その中で宇宙工学に関連してこれからの社会動向から産業の行方に関してご講演、パネルディスカッションを行います。

日時 平成29年11月3日(金・祝)
10時～11時30分
[受付:9時30分～]

場所 東京電機大学埼玉鳩山キャンパス 10号館(本館)2階
プレゼンテーションホール
[受付:10号館(本館)1階エントランス]
埼玉県比企郡鳩山町石坂(東武東上線 高坂駅 スクールバス8分)

定員 1,000名

テーマ 「宇宙が拓く科学技術の未来」
パネリスト 青木 豊彦 氏
千葉 隆文 氏
相川 昭仁 氏

お申し込み 理工学部開設40周年記念式典特設ページ
<https://www.dendai.ac.jp/event/2017/20171103-01.html>



開設当初のキャンパス

パネリスト紹介



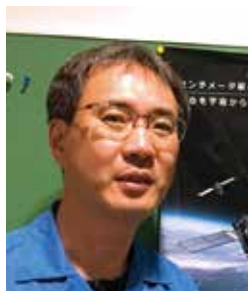
青木 豊彦 *Toyohiko Aoki*

株式会社アオキ取締役会長、東大阪市モノづくり親善大使、大阪市立大学学長特別顧問
中小企業が当初約8,000社集まっていたモノづくりの町、東大阪で「メイド・イン・東大阪」の人工衛星を打ち上げる計画をスタートさせた中心者です。
「モノづくりにプライドを」との思いで、世界的航空機メーカー・ボーイング社の認定工場にまで押し上げました。
当日は、モノづくりにかける宇宙の夢と楽しさについてお話し頂きます。



千葉 隆文 *Takafumi Chiba*

本学卒業生、三菱電機株式会社
入社以来35年、宇宙関係の仕事に従事し、こうのとりの2、3、4号機ではこうのとりの頭脳といえる電気モジュール部のプロジェクトマネージャを担当。現在三菱電機が打上げる衛星の射場での統括専任部長として射場作業の管理業務を行っています。
当日は、こうのとりの開発経験や衛星の射場作業についての経験をお話し頂きます。



相川 昭仁 *Akihito Aikawa*

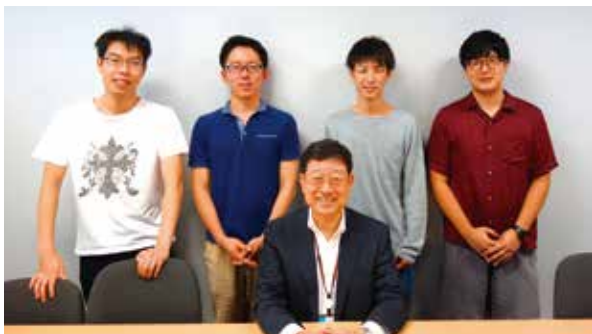
本学卒業生、三菱電機株式会社
入社当初は人工衛星搭載コンピュータの設計開発を担当。その後16年間日本のETCの立ち上げと展開を実施、2013年より日本版GPSとなる準天頂衛星2、3、4号機の開発を進め、2017年に打ち上げを行なっています。
当日は、準天頂衛星についてお話を頂きます。

お問い合わせ

理工学部事務局 記念式典・祝賀会係 ▶ TEL. 049-296-0496

建築設備の省エネルギー・省CO₂に関する研究と開発

未来科学研究科建築学専攻
柳原 隆司 特別専任教授



柳原特任教授と研究室の学生(建築環境・省エネルギー研究室)



建設に携わった民間企業の研究所

民間企業の研究所での経験がバックボーンに

私は大学卒業後、民間企業の研究所に勤務し、主に建物のエネルギー消費の実態調査や省エネルギー機器の開発、電力負荷平準化機器・システムの開発に携わりました。その後、実際の建物の建設や大規模再開発を経験しました。その時、環境アセスメントや地域冷暖房施設の基本計画に携わったことが大きな技術的バックボーンになりました。

東京電機大学に移ってからは地球環境保全の上で大変重要な業務用建物の省エネルギー、省CO₂に関する研究・教育に携わり、現在に至っております。

これまでのほとんどの期間を、建築と建築設備の省エネルギー・省CO₂に関する研究・開発と、その技術を応用した建物および建築設備の建設、並びに運営管理に携わってきた訳です。

今後、業務用建築の省エネルギー方策とは

業務用建築は全世界的にその省エネルギー方策が喫緊の課題となっています。先進国の多くで建築関連のCO₂排出量が全排出量の1/3を占めており、今後、発展途上国もその排出量が大幅に増えることが予想されています。建築における研究課題としては大きく住宅、業務用建物、地域開発に分類できるでしょう。私の考えでは、現在の最高のノウハウを活用すれば同じ用途の一般的な建物に対して50%省エネ、

省CO₂建物が実現できると思っています。ZEB(ゼロエネルギービル)やZEH(ゼロエネルギーハウス)に近づくためには、ハード面では再生可能エネルギーの積極的な活用、エネルギーの用途別計量や各種のモニタリング、BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)やスマートグリッド、リモートモニタリングなどに関する研究が必要ですし、ソフト面では森林等の植栽の大幅な増加、エネルギー管理の専門家の育成、リモートモニタリングによる建物の日常管理とエネルギー・マネジメントの分離などが必要となるでしょう。

学生には実践的な技術を

教育では実際の建物や建築設備の実測を行い、そのデータの収集、見える化、分析等を通して問題点を把握し、費用を要しない対策を行うのと並行して、改修工事の立案などを考える力を養うことが重要だと考えています。もちろん対策後の効果検証(コミッションング)は絶対必要ですし、自分が考えた対策が実際に効果を現したなら、これほど楽しいことはないでしょう。

そのような意味からも、東京電機大学東京千住キャンパスを実際の教材として、学部の学生から大学院に至る3~4年間にわたって研究することで、座学では獲得できない実践的な技術を身につけることができるはずで

柳原 隆司 特任教授 プロフィール (未来科学研究科建築学専攻)

| | | | | |
|---------|------------------------|---------|---|----------------------------|
| 1977年3月 | 東京大学工学部建築学科卒業 | 1994年7月 | 同 | 技術開発研究所 建築研究室 |
| 1977年4月 | 東京電力株式会社入社 | 1999年7月 | 同 | 法人営業部 |
| 1980年2月 | 東京電力株式会社 技術開発研究所 土木研究室 | 2013年4月 | | 東京電機大学大学院未来科学研究科建築学専攻 特任教授 |
| 1986年7月 | 同 建設部 建築課 | | | |

Profile



(上) 留学生達との絵手紙体験(前列右端が筆者)
(左) コンテストにはマレーシアの民族衣装で参加

「第18回外国人日本語スピーチコンテスト」学生の部 最優秀賞受賞

マレーシアから日本へ

理工学部 電子・機械工学系 3年
モハマド ヌルハキミ ビン アリアス

6月25日に、松山市民活動センター(埼玉県東松山市)にて開催された「外国人日本語スピーチコンテスト」へ出場し、学生の部で最優秀賞を受賞させて頂きました。スピーチのテーマは「私の忘れられない思い出」で子供の頃の体験です。

私はマレーシアの高校を卒業し、マレーシア・ツイニングプログラムによる編入学で日本に留学しました。子供の頃に家が中流家庭だったことで、お金持ちの家族に差別され、辛く悲しい思いをしました。貧富の差や差別がはびこる社会では、不正や高慢さが蔓延し、公正さやマナーや礼儀はもはや重要なものではなくなってしまいます。私は人として他人を尊敬し、見下してはいけないと思っています。私の国だけでなく世界のどこにもあることですが、この経験を原動力とし、今まで頑張り続けてきました。

これは悲しい思い出ですが、ただの悲しい話で終わらせないよう自分の将来の夢を叶えていくつもりです。私は家族の運命を変え、成功するための唯一の方法は、教育と時間管理だと思っています。日々の時間を無駄にしないで大切に使い、周りの色々なものを吸収し、成長して、優秀な成績を残したいです。

来日当初、これからたくさんの面白い出来事が待つ

ているだろうと思い心が弾みました。大学での生活は素晴らしく、日本語クラスの履修や毎週木曜日に埼玉鳩山キャンパスで開催される異文化コミュニケーションクラブ「日本語でシャベル会」への参加などで、日本語力を磨いています。国際センターの方は、本当に私たちの心配をしてくださり、地元の方たちも親切で、ウェイターさん、駅員さんたちもみんなフレンドリーで感動しました。

そして多くのイベントを日本人の友人と経験しました。花火、サッカー、旅行等、全てが私の人生の中の新しい一章となりました。学生生活はあと1年半の予定ですが、日本に長く滞在して、この生活を続けられたらと願っています。



スピーチコンテスト賞状

ナノ精度加工研究室

～高付加価値な加工技術を追究する～

工学部 先端機械工学科
森田 晋也 教授

研究室では光を操る先端デバイスなど極限精度の生産技術開発を目的として、ナノ精度加工の研究、先端光学デバイスおよびマイクロ構造体の製造に関する研究を行っています。先端科学研究や先進的ものづくりの現場で使用することを常に意識し、新奇光学素子を求める物理学者や光学設計者・企業の製造現場の方々などと頻りに議論しながら研究を進めています。

スライスミラー型分光素子の超精密加工技術^[1]

分光イメージングは、分光による色情報をもつ画像を取得することで、通常のカメラ(3原色)ではとらえきれない物質・状態を検知できるため、分光内視鏡・食品検査・農業・天文学・リモートセンシングなど、さまざまな分野での応用が期待されています。中でも画像や周波数を細切れに分割するスライスミラーは、コンパクトな構造で分光イメージングの瞬時撮影を可能とするキーデバイスとなる光学素子ですが^[2]、高精度かつ複雑形状であるため、一体素子の高精度な加工が困難でした。

本研究では超精密切削加工を適用した加工手法(写真1)を提案し、ナノメートルレベルの形状精度と表面粗さを得られることを実証しました。^[1,3] また、加工されたスライスミラーを用いてワンショットハイパースペクトルイメージング画像の取得に成功しました。^[4]

関連論文 [1] Morita et al., 16th euspen' Int. conf. (Nottingham, June 2016),
[2] Kitagawa et al., Proc. SPIE 9151, 91514P (2014).
[3] Kitagawa et al., SPIE Astro. Tele. Instr. (Edinburg, July 2016).
[4] Tamamitsu et al., Opt. Eng. 54(12), 123115 (2015).
[5] Yamagata et al., J. Radioanal. Nucl. Chem. 305(3), 787-794
[6] 森田他, 2017年度精密工学会秋季大会

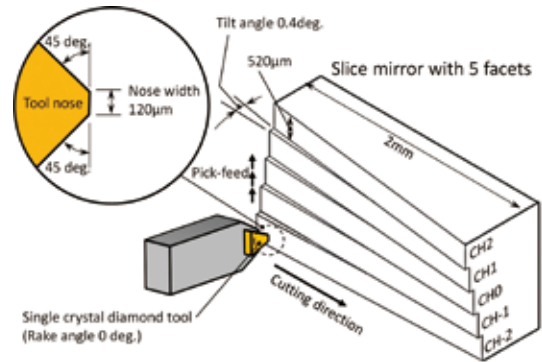


写真1 スライスミラー型分光素子の超精密加工法

高効率小型中性子発生装置のためのターゲット開発

中性子の利用分野は、材料特性評価、生体物質分析、非破壊検査、がん治療(BNCT)など多義にわたり期待されており、幅広い応用分野に対応するために小型の加速器を用いた中性子発生装置の高強度化が求められていましたが、ターゲット金属の寿命が短い実用ではありませんでした。

水素拡散合金を用いた長寿命ターゲット^[5]における金属ろう材の水素脆化ならびに放射化の問題を解決するため、難削材であるバナジウム(V)およびタンタル(Ta)をポリシング工程の最適化により表面粗さと平面度を向上させる試みを行っています。現在のところコロイダルシリカを用いたポリシングにより、VおよびTaについて5nm Raを達成しています。現在は平面度の向上と冷却プロセスの最適化を行っています(写真2)。

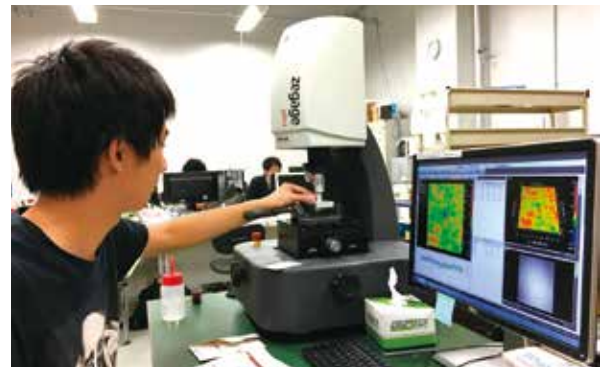


写真2 中性子発生ターゲット基板の表面粗さ測定

「電大ガールズ」D-girls

8月2日にギャラクシティ(足立区栗原)にて行われた、電子工作教室に参加しました。約60名の小学生を対象にしたイベントで、私達はハンダ付けの指導を行いました。終了後は、たくさんの参加者から楽しかったと笑顔で言って頂き、非常に充実した1日でした。

現在は学園祭(旭祭11/4~5)での模擬店の出店に向けて、活動しています。当日はより多くの人たちに楽しんで頂けるよう準備を進めて参りますので、是非ご来場下さい。

工学部環境化学科3年 野坂 美帆



今後の活動予定

11月4日(土)・5日(日) 学園祭(旭祭)
12月中旬
電大ガールズ主催 クリスマス会

大学院進学者の国際化プロジェクト ～中原大学(台湾)での短期研修に参加～

理工学研究科
理工学部



オープニングセレモニーでの自己紹介

7月9日から29日に、理工学研究科の学内推薦入試(A日程)に合格した理工学部生16名が、本学協定校である中原大学(台湾)のInternational Summer Programに参加しました。今回で2回目となるこのプロジェクトは、平成29年度に開設40周年を迎える埼玉鳩山キャンパスの記念事業の一つになります。

グローバルエンジニア育成の一環として大学院入学前に英語をコミュニケーションツールとして、海外の大学生等と協同でPBL型のプログラムに取

り組むものです。学部と修士課程が連携した教育体制づくりの足がかりとして、理工学研究科と理工学部が共同で実施しました。

このプログラムには、本学を含め5ヶ国8大学から120名を超える学生が参加し、1チーム5名程度で構成された混成グループにテーマが与えられます。それぞれがグループワークを行い、最終日に全員でプレゼンテーション発表を行いました。その他に企業・工場等の見学や、台湾の文化・歴史に対する理解等を踏まえた施設見学・地域交流も行われました。

台湾の風習や英語に不安のある学生もいましたが、中原大学の職員およびボランティア学生の多大なサポートもあり、苦労しながらも楽しくプログラムに取り組んでいました。

帰国の際には、搭乗予定の桃園国際空港発の便が台風で欠航となり、急遽、台北松山空港発の便に変更し、全員無事に帰国しました。

帰国の際には、搭乗予定の桃園国際空港発の便が台風で欠航となり、急遽、台北松山空港発の便に変更し、全員無事に帰国しました。



参加者で記念撮影



中原大学の研究室を訪問

技術革新者の名言とエピソード vol.2

“万物の根源は数である”

ピタゴラス

(紀元前 582年 - 紀元前 496年)

「ピタゴラスの定理」で有名な古代ギリシャの数学者、哲学者。

(エピソード)

自然現象の背後に数学的な法則が内在すること、その法則が数式で表せることに気付いた。音楽や天体の動き

も数であらわせると考え、弦楽器が美しい協和音を奏でる時の弦の長さは整数比で表せるピタゴラス音律も発見した。初めて数学という「観念的な存在」を導入したことで、以後、プラトンはじめ哲学や科学、技術などの発展の礎となった。

ピタゴラスは数学の美しさに陶酔し、数を究めることは真理に近づくとしてピタゴラス教団を設立し、世界は整数とその比により秩序をもつとしたが、秘密主義やエリート意識により市民の反感を受け壊滅してしまった。

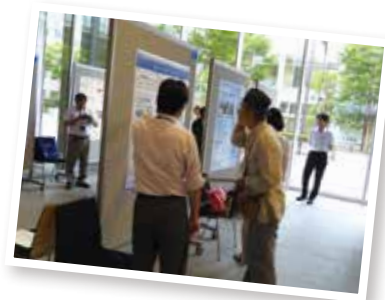
総合研究所「研究成果発表会」開催 ～研究成果を社会に還元～

総合研究所

8月3日に東京千住キャンパスにて、総合研究所による「研究成果発表会」を開催しました。

総合研究所では、先生方の研究活動の支援を行っています。その1つとして毎年研究費の補助を行っており、そこで得られた研究成果を報告する場として、一般の方にもご参加頂ける「研究成果発表会」を開催しています。

今年度は特別講演2件、口頭発表4件、ポスター発表27件を行いました。また新たな試みとして、ポスター発表者によるショートトークを実施しました。これはポスター発表時間の議論の活発化を目的とし、事前に1分間で簡単に研究成果について紹介するプログラムです。「どのような研究が行われているのか分かりやすい」と大変好評を頂き、学内外の新たな交流のきっかけとなりました。



今後も「研究成果発表会」が、それぞれの研究で得られた成果や新たな発見が、広く社会に還元されるための一助になればと思います。



特別講演を聴き入る来場者

中学校・高等学校

学園創立110周年記念 & 東京小金井キャンパス開設25周年記念イベント

オルセースクールミュージアム in 東京電機大学中学校・高等学校開催報告

校長 大久保 靖

学園創立110周年と小金井キャンパス開設25年を記念して、8月5日～13日にオルセースクールミュージアムが開催されました。期間中は在校生・保護者に加え、卒業生や近隣住民の方々など延べ3,141人の来場者があり、オルセー美術館公認のリマスターアート(超高精細復原作品)30点を鑑賞されました。

本イベントは在校生参加、高大連携、地域連携、卒業生母校訪問をコンセプトとし、復原画に加え、多くの企画が展示されました。課題探求学習組織

「TDU 4D-Lab」やクラブ活動の生徒諸君による特別展示と大学研究室の協賛展示は、本学園らしい“アート”と“テクノロジー”の融合を象徴する企画として、また地域の協力展示も好評を博しました。

特にアートコンシェルジュとして、来場者に作品解説をしてくれた生徒諸君の活躍は特筆に値します。来場者に作品説明するという経験を通じて彼らが成長する姿を見るにつけ、本イベントが教育の場でもあったことに気づかされ感動いたしました。



8月5日オープニングセレモニーでのテープカットの様子



アートコンシェルジュ(在校生)による作品解説



会場内で模写する子供たちもたくさんいました(美大に進学した卒業生はゴッホの「星降る夜」の模写に挑戦しました)



出席者による記念撮影

学長賞OB・OGの集い ～学長賞を受賞した卒業生・在学生 29名が集まり開催～

東京千住キャンパス事務部

7月22日に東京千住キャンパスにて、「学長賞受賞者OB・OGの集い」を開催しました。学長賞は平成12年度から設置され、人物・学業ともに本学の模範となる者を表彰する制度です。この運営に多大なるご支援を頂いてきた神山治貴本学名誉博士(マクニカ・富士エレホールディングス(株)取締役会長)より、新旧の学長賞受賞者同士が交流を図り、互いに刺激を受けることにより実社会でも活躍して欲しいという願いから、昨年より開催しています。

当日は歴代学長賞を受賞した卒業生・在学生29名、安田進副学長をはじめ、大学関係者の方にご出席頂き、神山名誉博士の挨拶、工学部人間科学系列 寿楽浩太准教授の講演(タイトル:失敗学とレジリエンス～個人、組織、社会の“しなやかさ”を考える～)、受賞者同士の班別ディスカッションが行われました。

班別ディスカッションでは、「社会で求められている能力を育成するために、開講が必要な『科目』とその内容について」というテーマのもと、既に社会人として活躍されている卒業生による活発な意見交換が行われ、会場は賑わいを見せていました。

その後、各班代表者による発表が行われ、安田進副学長から講評を頂きました。懇親会では参加者から感謝の言葉が述べられ、盛況のうちに終了しました。



安田学長から称号記贈呈

東京電機大学名誉教授 の称号授与

～9名の先生方が名誉教授に～

学長室

本学在職中の教育と研究における功績に対して敬意と感謝の意を表し、新たに9名の先生方に名誉教授の称号が贈呈されました。

7月25日にホテルグランドパレス(東京都千代田区)にて称号贈呈式が行われ、安田学長から名誉教授の先生方へ称号記が贈呈されました。称号記贈呈終了後には祝賀会が行われ、加藤理事長のご挨拶に始まり、出席者全員和やかな雰囲気の中に会を終えることができました。

名誉教授の先生方には、今後も益々のご活躍とご健勝を祈念いたします。

●名誉教授の先生方

| | |
|-----------------------------|----------|
| 元工学部機械工学科 | 吉田 亮 先生 |
| 元理工学部理工学科 (生命理工学系) | 村勢 則郎 先生 |
| 元理工学部理工学科 (情報システムデザイン学系) | 勝又 洋子 先生 |
| 元理工学部理工学科 (電子・機械工学系) | 福井 康裕 先生 |
| 元情報環境学部情報環境学科 | 吉村 彰 先生 |
| 元情報環境学部情報環境学科 | 紫合 治 先生 |
| 元情報環境学部情報環境学科 | 鶴田 節夫 先生 |
| 元未来科学部建築学科 | 立花 正彦 先生 |
| 元未来科学部建築学科 | 今川 憲英 先生 |

(平成29年4月1日付)



名誉教授の先生方を囲んで記念撮影

東京千住キャンパス

J:COM共同イベント小学生向けものづくり体験教室



8月17日にもものづくりセンターにて、株式会社ジェイコム足立と共催で「小学生ものづくり教室」を開催しました。地域の子供たち55名を招いて、本施設にあるレーザ加工機を用い、J:COM NETのキャラクター「ざっくう」のキーホルダーを作成しました。普段、目にすることがない工作機械の加工を知ってもらい良い機会となりました。

終了後は参加者で記念撮影、その後学生食堂でカレーライスを食べ、とても満足した様子で帰られました。
(ものづくりセンター管理室 大井)

千葉ニュータウンキャンパス

平成29年8月 修了式・卒業式の挙行



8月31日に本キャンパスにて、平成29年8月修了式・卒業式を執り行いました。9月入学者を含む情報環境学研究科修了生1名、情報環境学部卒業生14名が学長より学位記を授与されました。

また式終了後は、教職員との意見交換会(懇親会)が行われ、参加した修了・卒業生の晴れやかな姿が印象的でした。

今後は研究者・技術者として、社会で活躍されることを期待しております。(情報環境学部事務部 岩淵)

埼玉鳩山キャンパス

地域で支えあう救命の輪

埼玉鳩山キャンパスと西入間広域消防組合は、「地域支えあい自動体外式除細動器貸出協力事業者協定書」を締結しました。これは緊急の際には地域住民の方の申し出により、キャンパスに設置されているAEDを貸し出し、救命率・社会復帰率向上を図るものです。

キャンパス内では本館エントランス・健康相談室、3号館講師室前、守衛室、体育館に設置されています。皆さんも、いざという時に備えてAEDの場所や使い方を確認しておきましょう！

(理工学部事務部 高木)



東京小金井キャンパス

シアトルでのホームステイ研修



8月1日から18日間、高校1・2年生30名がシアトルホームステイ研修へ行きました。午前中は大学でネイティブ講師による少人数での英語の授業を受け、午後はマウントレニア山観光や野球観戦、湖の畔でのBBQなど、現地の人々や文化に触れるさまざまなアクティビティに参加しました。親元を離れホストファミリーと過ごした18日間は、貴重な体験となったようです。

この経験を今後の学校生活にも活かし、今度は是非自分の足でシアトルの地を再訪してほしいと思います。
(引率教諭 柴山)

東京神田キャンパス 神田カレーグランプリ

秋はイベントが目白押しです。古本まつり、スポーツ祭りは有名ですね。その中でも神田カレー街活性化委員会の主催する「神田カレーグランプリ」では、参加店舗を食べ歩くスタンプラリーを開催しています(8月23日～11月30日)。

スタンプ台紙のついた「神田カレー街公式ガイドブック」は、参加店舗で入手できます。全88店舗からスタンプを集めると、その攻略度に応じて神田カレーマイスター証が贈られます。普段カレーを出していないお店も参加していますので、これをきっかけにお店を知るチャンスです。皆さんもチャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか。
(出版局 江頭)



平成 29 年度顧問・学賓・参与の会

7月11日に東京千住キャンパスにて、顧問・学賓・参与の会を開催しました。当日は3名の顧問が出席されたほか、学賓、参与など関係者50名が出席されました。

加藤理事長の開会の挨拶の後、本学園の現状について担当理事より詳細な報告があり、これを受け、顧問・学賓・参与の方々から貴重なご意見を頂きました。

会の終了後、新校舎5号館法人・大学共用会議室2へ移動し、懇親会が行われました。吉川学術顧問の開会の挨拶から始まり、和やかな雰囲気の中、学園の発展について様々な見地から意見交換がなされました。

●顧問

吉川 弘之(学術顧問)

元日本学術会議会長、元東京大学総長、元放送大学学長、元(独)産業技術総合研究所理事長、(国研)科学技術振興機構特別顧問

古田 勝久(学事顧問)

前東京電機大学学長、元学校法人東京電機大学理事

小谷 誠

元東京電機大学学長、元学校法人東京電機大学理事、東京電機大学名誉教授

神山治貴海外留学派遣奨学金 壮行会

8月2日に東京千住キャンパスにて「TDU 神山治貴海外留学派遣プログラム」を利用して、8月からアメリカ、フィンランドに留学する奨学生2名の壮行会を行いました。

奨学生としてアメリカ、アーカンソーテック大学に約9ヶ月間留学するのは、工学部情報通信工学科4年松島勲旺さん、フィンランドのラップランド応用科学大学に約4ヶ月間留学するのは、工学部第二部電気電子工学科4年の九澤渉さんです。

留学への意気込み、抱負などを熱く語る二人の姿に、安田浩学長をはじめ、次年度以降の奨学生候補に選ばれた後輩たちは感銘を受けたようでした。また、奨学生2名は、失敗から学ぶことが大切という平栗健二学長室長のエールの言葉を深く心に留めているようでした。



安田学長からの激励

TDU 神山治貴海外留学派遣奨学金について

本奨学金は、本学の名誉博士である神山治貴氏のご厚志により設立されました。本学学部在学中に学長賞を受賞し、修士課程または学部在学中に英語圏の大学等に留学を希望する者に奨学金を給付することで、海外留学を促進し、優秀でグローバル人材教育、他の学生に刺激や影響を与えることのできる人材を育成する目的としています。



留学への決意を語る工学部情報通信工学科4年松島勲旺さん



エンジニアにとっての語学学習の重要性を語る九澤渉さん



平栗学長室長から奨学生へエールの言葉

夏の学生海外短期研修

夏季休暇中に国際センター主催の4つの海外短期研修を実施し、全員無事帰国しました。研修先、期間、参加者は次の通りです。

- ①コロラド大学ボルダー校英語短期研修
(アメリカ、8月5日～27日、13名)
- ②大邱大学校韓国語短期研修
(韓国、8月6日～26日、2名)
- ③ケンブリッジ大学英語短期研修
(イギリス、8月13日～9月3日、10名)
- ④泰日工業大学サマープログラム
(タイ、8月23日～9月2日、2名)

語学研修だけでなく、異文化・多様性を体感し、学生たちは一回りも二回りも成長しました。



ケンブリッジ大学でのグループディスカッション

「日本留学 AWARDS」6年連続入賞！

一般財団法人日本語教育振興協会 日本語学校教育研究大会が主催する、2017年「日本留学 AWARDS」～日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先～「東日本地区大学(理工系)部門」において、本学が入賞しました。

本学はこの賞が始まった2012年及び2013年に大賞を受賞し、その後連続して入賞しています。

- 受賞名
2017年日本留学AWARDS東日本地区大学
(理工系)部門 入賞校
- 受賞対象
東京電機大学



ものづくりセンター施設説明会

9月6日に東京千住キャンパスにて、4月に開設したものづくりセンターの施設説明会を開催しました。21名の学生が参加し、ものづくりセンター管理室の大井先生より利用方法、使用できる機械類の説明、施設内の見学を行いました。終了後の質疑応答では学生たちの積極的な質問もあり、関心の高さが伺えました。

アンケートでは、学生の目線から様々な意見、必要な機器、材料を示してもらい、施設を運営していく上での大きな手助けとなりました。

今後は、安全講習を開催するなど、本格的な運用に向けて準備を推し進めます。



熱心にメモをとる学生たち

受賞
情報

顕著な活躍をした電大人を紹介します。

**東京電機大学**

2017年日本留学 AWARDS

東日本地区大学(理工系)部門 入賞校

平成29年8月7日

**竹田 菜々美さん**(修士1年)

工学研究科物質工学専攻(電気化学エネルギー研究室)

日本化学会 電気化学ディビジョン 化学電池材料研究会

第40回講演会・夏の学校 優秀ポスター賞

平成29年8月3日

**井戸 航洋さん**(修士1年)

工学研究科物質工学専攻(分析化学研究室)

プラズマ分光分析研究会 2017 筑波セミナー

Journal of Analytical Atomic Spectrometry Poster Prize

平成29年7月7日

**小林 大祐准教授**

工学部応用化学科

ICU 2017(19th International Conference on Ultrasonics)

Best Presentation Award

平成29年6月26日

**熊本 実桜さん**(平成28年3月修了)・**青木 隆太郎さん**(修士2年)

未来科学研究科建築学専攻(建築・環境計画研究室)

古賀 政好さん(研究員)・**山田 あすか准教授**

未来科学部 建築学科

こども環境学会2017年大会

「環境づくりのリゾームサイト(療育)の構築」(社会的活動の部門) ポスター発表賞

平成29年5月28日

**大澤 基明教授**

工学部先端機械工学科

公益社団法人 腐食防食学会 功績賞

平成29年5月25日

**伊藤 海樹さん**(修士2年)・**鈴木 佑汰さん**(修士2年)

工学研究科機械工学専攻(光応用機械工学研究室)

堀内 敏行教授

工学部 先端機械工学科

Photomask Japan 2017

Best Academic Poster Presentation

平成29年4月7日

(受賞日順)

後援会だより

東京電機大学後援会・第2回常任評議員会開催

7月8日に東京千住キャンパスにて、東京電機大学後援会第2回常任評議員会を開催し、平成29年度後援会予算から、学生支援活動補助として6項目(課外活動支援、キャリア形成・就職支援、国際交流支援、研究活動等支援、学生生活支援、こころとからだのサポート24)、総計18,650,000円の支援を行うことが審議、承認されました。

また、平成26年度より毎年100万円ずつ積み立てを行い、今年度までに300万円の積み立てがある特別事業予算の執行について、東京電機大学サポート募金へ寄付(各150万円ずつ①奨学金(大学)②施設・設備(千住・鳩山))を行うことも併せて審議、承認されました。



今年度支援が決定した学生団体・学生

| 団体・個人名(所属キャンパス) | イベント名 |
|-------------------------|--|
| 工学部第二部アマチュア無線部(東京千住) | JARL主催 第60回フィールドデーコンテスト |
| TDU Space Project(埼玉鳩山) | 国際大会 ARLISS(アーリス)、第14回種子島ロケットコンテスト |
| 加藤 彩文(千葉ニュータウン) | 第24回全日本大学かるた選手権大会 |
| 江口 昌幸(東京千住) | 「夏季ピストルN T選考会」、「全日本学生射撃選手権」ほか全9大会 |
| 自動車部(埼玉鳩山) | Honda エコマイチャレンジ2017 第9回もてぎ大会、本田宗一郎杯 Honda エコマイチャレンジ2017 第37回全国大会 |
| 硬式野球部(東京千住) | 東京新大学野球連盟 平成29年秋季四部リーグ戦 |
| 将棋部(東京千住) | 関東大学将棋連盟主催棋戦 団体戦・個人戦(春季・秋季)、第34期アマチュア王将位大会 |
| 工学部第二部ボウリング部(東京千住) | U22 3rd Fukuoka Summer Cup Bowling Tournament 2017 |
| フォーミュラSAEプロジェクト(埼玉鳩山) | 2017 Formula SAE-Australasia2017 |
| メディカルデバイス開発者ズ(埼玉鳩山) | ビジネス創造コンテスト |

校友会だより

『平成29年度東京電機大学技術士会総会』の開催

今年で設立5周年を迎える東京電機大学技術士会は、7月15日に東京千住キャンパスにて、『平成29年度総会』を開催しました。「技術で社会に貢献する人材の育成」に取り組む本学は、同会からJABEE課程に係わる第三者評価に多大なるご協力を頂き、また平成30年度から工学部第二部の授業科目の担当をお願いしています。

総会に先立ち、公開講演会では講師に「電動パワーステアリング」を発明した清水康夫教授(工学部先端機械工学科)をお招きし、「常識と非常識」というテーマで講演を頂きました。



出版局 新刊のご案内



たのしくできる
**Intel Edison
電子工作**
牧野 浩二 著

B5判 176頁 2,700円

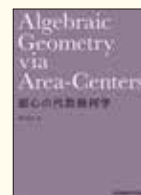
ドローンやIoTデバイスの製作において注目される「Intel Edison」。初心者向けに書かれた初めての一冊。



たのしくできる
**光と音の
ブレッドボード
電子工作**
西田 和明 著

B5判 112頁 1,944円

サンハヤトの小型ブレッドボード・キットを使って、電子ホタルや電子ギターなど、いろいろな方法で光や音を発生。



**面心の
代数的幾何学**
碩 文夫 著

A5判 224頁 3,456円

面心を題材として代数的幾何学を学ぶ入門書。面心とは全ての面積が等しくなる点のこと。代数的幾何学の本質を理解したい方必読！(本学理学系教授)

学生だより

東京千住キャンパス

漫画研究会、 コミックマーケット 92 に出展

東京千住キャンパス文化部会
漫画研究会

漫画研究会は8月11日から13日に、東京ビックサイトで開催された「コミックマーケット92」に出展しました。今回の出展では、夏祭りをテーマにした漫画本とイラスト本の2種類の展示と配布を行いました。

コミックマーケットの出展は、開場前に割り当てられたブースの設営を行います。開場後は本の配布や他のサークルとの交流を行いました。配布した本は部内でイラストや漫画原稿を描き、印刷所に委託して発行しています。

漫画研究会は105名(男子:84名、女子21名)で、講習会や絵描き会を設けて、漫画やイラスト作成のためのテクニックをシェアして技術の向上やアイデアの発想力を高め、楽しく和気あいあいと活動を行っています。

主な活動は月に1冊、イラスト本または漫画本の作成です。その中でも、夏と冬のコミックマーケットに向けての出展には特に力を入れています。

今後もイベントへの参加を積極的に行っていきたいと思います。



時代を越えて—東京電機大学の軌跡

簡素な開校式 | Vol.02 |

明治40年9月11日の夕方、思い思いの服装に身を固めた生徒たちが、神田のとある門も柵もない簡素な校舎に登校してきた。

定刻6時から開校式が挙げられた。かなり広い会場にはわずかに席が設けられ、式場とは名ばかり。やがて壇上に職員講師が着席して儀容を正すと、瘦せたひとりが立って挨拶を述べた。それが終わると、式場を白い幕でふたつに仕切って教室とした。その後、授業が9時まで続いた。瘦せたひとりとは、廣田であった。

廣田のこの挨拶こそ本校の放った呱呱の声であり、この夜の授業こそ本校活動の第一歩であった。

開校当初の校舎は間借校舎で、幕でふたつに仕切った教室のほか、事務室兼講師室と受付室の合計4室。職員は扇本と廣田のほか、事務員の



東京府知事の設定許可書

設立許可願

堀長松がただひとりであった。

かくもささやかな世帯であったが、講師だけは立派であった。当時、産業界で活躍している数少ない工学博士、ならびに帝大卒の工学士を多数そろえていた。

出典「学校法人東京電機大学75年史 小史」
(一部読みやすく修正しています)

今月の一句

短夜の論文執筆もう明けぬ

教職員親睦会
千住俳句会

鷗村(藤田聡)

俳句会の紹介

会員はOBを含めて16名。月に一度、NHK俳句で現在講師をなさっている高柳克弘先生をお迎えして、句会とその後の宴会を開催しています。

Information

第16回秋葉祭開催

情報環境学部事務部

第16回目の秋葉祭のテーマは「Anchor(アンカー)」。リレー競技の最後の走者という意味です。来年度、情報環境学研究科・情報環境学部の東京千住キャンパス移転に伴い、千葉ニュータウンキャンパスの学園祭である秋葉祭は今年度で最後の開催となります。最後の学園祭を走り抜くという思いが込められています。

今年も研究室・サークル・クラブが、様々なイベント・ライブ・展示を企画しています。恒例の屋台ストリートも例年以上の盛り上がりが見込まれます。8日(日)には、ロボット研究者である石黒浩氏の特別講演会(東京電機大学学生・教職員 無料)も開催されます。

緑豊かなキャンパスでの清々しい学園祭に是非ご来場下さい。

日 時 平成29年10月7日(土)～8日(日)
10:00～17:00
会 場 千葉ニュータウンキャンパス
特設サイト <http://syuyo.info/>
お問い合わせ 情報環境学部事務部
Tel. 0476-46-4111



賑わう屋台ストリート(昨年の様子)

ホームカミングデー開催

学長室

全卒業生を対象とした「ホームカミングデー」を開催します。

また、5年毎卒業生の方を対象とした懇親会を行います。是非ご来場ください。

(この対象の方を“特別招待者”と呼称します。)

日 時 平成29年11月4日(土)
10:00～17:00
【学園祭開催時間と同じ】
会 場 東京千住キャンパス
受 付 1号館1階エントランスホール
プログラム(予定)
(1) 歓迎会 (14:00～14:35)
(2) キャンパス散策 (10:00～17:00)
(3) 同窓出会いの広場 (10:00～17:00)
(4) 懇親会 (15:00～16:10)【特別招待者対象】
お申込み <https://www.dendai.ac.jp/about/tdu/homecoming/program.html>
お問い合わせ 学長室 Tel. 03-5284-5202



参加者全員で校歌斉唱(昨年の様子)

編集後記

リクルート進学総研が発表した「進学ブランド力調査 2017」において、高校生が「志願したい大学」の関東エリア理系ランキングで本学が19位に選ばれました。昨年の27位から順位を上げています。

この調査は、高校3年生7万4千人を対象に実施され、今年で10回目の調査となっています。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。